

1. 本園の教育保育目標

保護者の協力を得て、多くの良質な体験を通して自信を持たせ、園児個々の成長目標を達成する

- ・心情(Feeling)の豊かな子ども…「感情表出」「愛情」「他への理解」「申告意欲」「試行意欲」「連帯意欲」「正義感」
- ・態度(Manner)の良い子ども…「挨拶」「謝罪」「感謝」「懇願」「自己責任」「選択責任」「勝者の義務」
- ・自主的に行動(Behavior)できる子ども…「規律遵守」「忍耐」「勇気」「責任感」「委任追従」「自己主張」「自己顕示」
- ・個性(Identity)豊かな子ども…「演出表現」「演技」「言語」「心情表出」
 「絵画制作」「興味・関心」「集中・熱中」「創造・想像」
- ・健康(Health)な子ども…「運動・体力」「走・跳・投」「泳・潜」「持久意欲」

2. 今年度、重点的に取り組む目標、計画

①標準人件費総額と基本給付費総額から有効な予算を作成し、確実な黒字化を達成する。②施設間の人材交流、ウェブ研修を通して各職種での専門職化を図り、それに応える処遇を図る。③昇級試験、同僚評価、アワードバンケットを中心とする専門職知識・研究心・人間性向上を図る。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目(課題)	取り組み状況
① 挨拶の体得化(園児・職員)	まずは職員間で気持ちの良い挨拶を心掛け、来園される方にも挨拶をし、子どもたちの見本になる事を機会がある毎に職員が意識出来るように話をする。クラス内でも担任から挨拶の大切さを子どもたちに話し、お当番活動の一つとして取り入れながら、挨拶運動を取り入れていく。
② プレチームの充実(特に外あそび、山あそび)	子ども達の遊びの発展に応じ、遊びのレパートリーが増えるよう提案することで、子ども自身が他児に影響を受けながら遊び込む姿が多々見られた。(外でのボールあそびや縄跳びは特に上達した。)また、アーバン、クラシック共に、アンケート結果が昨年より向上したのは良い成果だった。
③ 職員の人間性向上	今年度より参観、遠足などの再開、音楽祭会場変更などをするにあたって、より良い保育を提供しようとする職員の意識が高く、一層熱心な姿勢を感じ人間性の向上を達成しているといえる。また、プレチーム、クラス保育の連携を充実させ、一人一人のお子さまに適した保育を実施している。乳児組については、各クラス、ポジションが質の高い保育を意識し、一人一人の発達に応じた保育の実施、目標を持つての取り組みを実践し、その成果をまとめてアワードバンケットの選考に出すことができた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

コロナ禍において実施を中止していた参観、遠足、誕生会や季節の行事のお集まり会などを今年度より再開し、園児の嬉しそうな姿や保護者様からの喜びのお声をうけ、職員一同、改めて様々な教育保育活動の重要な意味と、それに伴う園児の成長を実感する1年であった。新型コロナウイルス感染対策についても、10月中旬からは職員のマスクなし保育を実施し、保護者様にも表情を見せての保育の大切さをご理解いただき、共感のお声をいただきました。今後も、さらに園の方針をご理解いただき、家庭と園とが連携してお子さまにとってより良い教育保育の実践を行っていけるように努めていく。

5. 今後取り組むべき課題(次年度へむけて)

課題	具体的な取り組み方法
① 選ばれる園になるために発想をかえて必要とされることを考える	一人一人を伸ばす方法を考える(クラス、プレチーム、ネイティブが連携して最適な環境づくりを行う)
② クラシック2バス利用園児のプレタイムの時間確保	降園前の時間を活用できるように検討する
③ 挨拶の習得	食事前後の挨拶(いただきます、ごちそうさまでした)も含めできちんと指導していく
④	

6. 学校関係者の評価

* 理事長・園長・職員との努力により、経営的には困難な時代に待遇の向上等を計り、経営を安定的に維持していることを評価いたします。職員の保育に関して、園児を愛し、保育に安全と責任と向上に努力する態度は、保育のトップランナーを目指す理事長の思いが込められている。保護者に対してはPTA総会・アンケートウェブ・ホームページを通して的確に情報を開示し、明朗な経営、教育の向上を示していく。全ては法人・理事・評議員共々が協力し、健全で安心できる運営に邁進されることを期待しています。最期に「ありがとう」「おはようございます」「いただきます」「ごちそうさまでした」を我々も園児と共に心がけ、この評価を終わります。令和5年3月31日 理事会